

ブナの里

色とりどりの黄葉が美しい黒松内町歌オブナ林のブナの樹々

写真提供：黒松内町ブナセンター

- ◇ 特別養護老人ホーム緑ヶ丘ハイツが開園50周年・・・・・・・・・・P2
- ◇ 法人全体で虐待防止研修会開催・・・・・・・・・・P3
- ◇ 2025年秋 法人各施設行事特集・・・・・・・・・・P4～9

おかげさまで開園50周年！ 緑ヶ丘ハイツ 開園記念祝賀会

11月1日、緑ヶ丘ハイツは開設から50年の節目を迎え、開園記念祝賀会を開催しました。



特別養護老人ホーム緑ヶ丘ハイツは1975年（昭和50年）11月に開設されました。診療所を併設し医師が常駐した「終の棲家」として、安心・安全・安楽な介護サービスを提供してきました。2019年11月に現在

の建物に移転して、今年で6年を迎えました。鉄筋コンクリート造3階建てで、2階と3階に居室（個室）各40室の80床で運営を開始しました。

移転前の旧緑ヶ丘ハイツ土地建物は黒松内町へ寄贈し、現在取り壊し作業を行っています。



緑ヶ丘ハイツは、ここ数年職員と利用者の確保が大変厳しい状況が続き、入所者数を低減して運営してきました。この2年間は、黒松内町とも協議をしながら、新たな運営体制への検討を進めてまいりました。そして、本年3月に一部改修工事を行い、

4月より1フロアで利用者の受入人数を42名として、効率的な経営を目指すべく新体制での運営を開始しました。



開園記念祝賀会には、岡久孝雄理事長と長年ハイツ施設長を務めた武井光秋監事をお招きして、2階食堂に利用者と職員が集い行われました。

祝賀会では、50年の歴史を皆さんと映像で振り返り、若い時の写真が映し出されると笑いが会場を包み、終始和やかなムードに包まれていました。

食事は、生チラシから始まり折の蓋を開けると「食べきれるかな」等の声が飛び交い、最後のデザートまで皆さんほぼ完食されていました。余興のカラオケ大会も利用者の皆さん、職員も多数参加して、時間を忘れ大熱狂に包まれました。

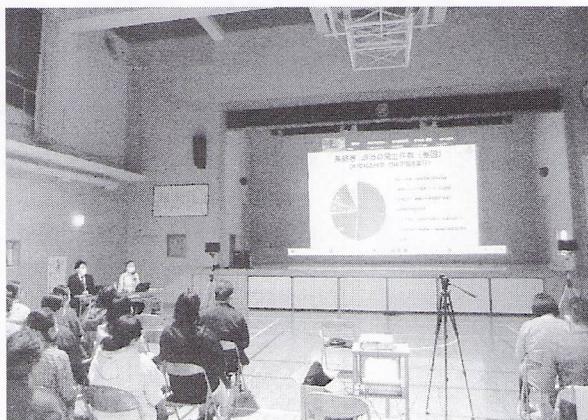


会の締めとして、武井光秋監事が50周年を祝して万歳を50回でと笑いを誘い、5回の万歳三唱で会を締めました。

これからも、皆さんと気持ち一つに歴史を刻んでいけるよう研鑽してまいります。今後とも緑ヶ丘ハイツをよろしく願い致します。

虐待防止へ向けて 「アングーマネジメント研修会」開催

10月7日、法人虐待防止委員会主催による「アングーマネジメント研修会」を開催しました。当日、会場の黒松内つくし園体育館には100名超の法人役職員が集まり、オンラインによる

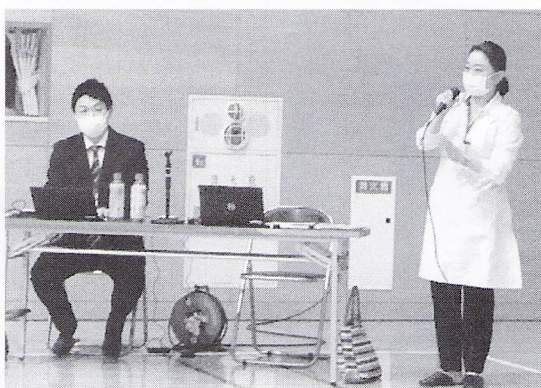


参加も行い、後日ビデオ配信も実施しています。

法人各事業所では虐待防止委員会の設置、職員研修などの防止対策を講じていますが、全職員が虐待に対する理解を深めるため、6月の法人虐待防止研修

会に続いて2回目の開催となります。

講師には、株式会社光洋北海道支店ケアコンシェルジュである伊岐見怜奈様をお招きし、「虐待ゼロを目指す」対人支援職のためのアングーマネジメント」を講義いただきました。



講師の伊岐見 怜奈 様 光洋 株式会社

自分の怒りの感情を分析して傾向を知り、感情をうまくコントロールして「怒り」と上手に付き合っていく方法について、詳しく学びました。

研修会では、様々な資料による講義とグループワークも行われ、会場では活発な意見交換がされていました。研修内容は

変わりやすくて、非常に参考となる有意義な90分間の講義でした。職員それぞれの心のトレーニングとマネジメントにより、今後の各施設での虐待防止対策に大いに役立つものとなりました。



これからも、法人挙げて虐待防止と根絶へ向けて、この研修の他にも様々な取り組みを行い、役職員一同より良い福祉サービスの提供に努めてまいります。

しりべし学園から 全国銀メダリスト誕生！

10月25日から27日に滋賀県で行われた「全国障害者スポーツ

大会」フライングディスク競技で、しりべし学園の加藤樹良君が、北海道代表として出場し、見事銀メダルを獲得しました(写真右)。



フライングディスクはプラスチックの円盤を投げる競技です。大会前には黒松内町からも奨励金を頂きました(写真左)。本人は「結果を意識しつつも、まず全力で楽しみます」と話し、全国大会に臨みました。



黒松内町新川副町長より激励される加藤君

楽しんでプレーした結果での銀メダルは、本人にとって貴重な経験になったと思います。この経験を将来自分の夢に向かって活かして欲しいと思います。

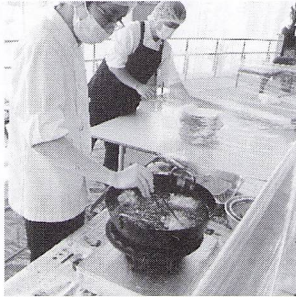
各施設行事特集①

慶和園「敬老会」

慶和園では養護・特養の利用者が一堂に会し敬老会を開催いたしました。

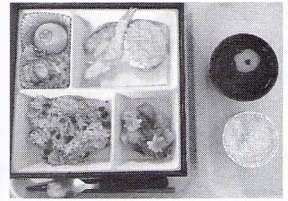
今年の目玉は、目の前で揚げた天ぷらメニューのご提供です！

特大エビの天ぷらとホタテ入りのかき揚げは、会場内2か所に設けた特設キッチンよりアツアツで振舞われ、大盛況。皆様のおかげにより心温まる会となりました。



緑ヶ丘ハイツ 「今年も爆笑敬老会!!」

9月16日に敬老会を開催しました。昨年同様、二部構成で昼食には蓋のついた入れ物に赤飯、天ぷら等の豪華な食事を厨房の方々が一生懸命作ってくれ、蓋を開けると利用者から「わー」と歓声が上がリ皆さん喜ばれほぼ完食されていました。その後、ひと休みの後に大運動会を開催し会場全体が大きな笑い声に包まれ、終わりに職員より一人ひとりに感謝状をお渡しし楽しい時間を過ごしました。次の日になっても皆さんから「昨日は楽しかった」「美味しかった」と声が飛び交っておりまして。今後もしばらくいろいろな企画を提供し爆笑の渦を発生させていきます。改めて、皆さん本当におめでとうございました。



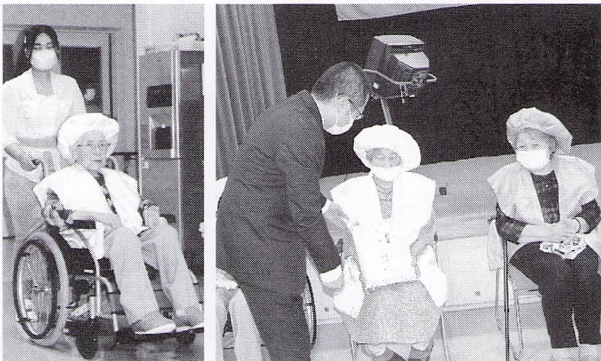
泊村老人ホームむつみ荘「敬老式典」

9月12日敬老式典が行われました。今年は、百寿の入居者2名に、内閣総理大臣からのお祝い状と銀杯、泊村の敬老祝い金が高橋村長より授与されました。式典の後は、今年も泊村のご厚意により、歌や津軽三味線、和太鼓の演芸会が行われました。手拍子をしたり、歌を一緒に口ずさみながら、「懐かしい歌ばかりで楽しいね」ととても楽しそうにされていました。ユニットに戻ってから「握手してくれて嬉しかった。また来年も見たいから長生きしないとね」と入居者様同士、余韻に浸りながら会話がはずんでいました。

緑ヶ丘老人ホーム「園内敬老会」

今年度は、102歳の方を筆頭に101歳、米寿4名と計6名の方をお祝いいたしました。特定技能外国人レヴィナ支援員がインドネシアの民族衣装に身を包み、102歳の利用者を先導してくれました。

いつまでも皆様が笑顔で過ごされるよう職員一同、御健康とご長寿をご祈念申し上げます。



2025年度 法人

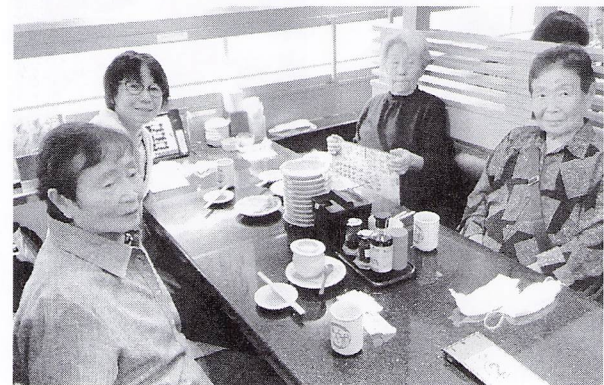
黒松内町ディサービスセンター「敬老会」

9月15日(月)～19日(金)まで、敬老会を盛大に行いました。米寿のお祝い対象者は舘野浪子様、竹鼻恵美子様、藤友トミ子様、澁谷孝子様、三浦正様の5名でした。余興ではジェスチャークイズと職員のダンスを見て、笑顔で楽しませていました。米寿の皆様は元気でハツラツとした方々で「米寿なんて思えない。」との声か聞かれていました。最後は万歳三唱で締めくくりました。



黒松内町ディサービスセンター 「サタデー開催」

今年度のサタデーは、第1陣9月6日、第2陣10月4日と2回に分けて開催。両日とも天候に恵まれて、道中は太平洋を眺めながらの楽しい旅となりました。昼食は回転ずしで好きなネタを注文してお腹いっぱい食べられました。帰りにはドラッグストアやスーパーで買い物をし、「今日は来てよかった」「このディサービスは良いところだ」「毎年楽しみしてるんだよ、ありがとう」と、喜びの声が上がっていました。



湯の里・黒松内「敬老会」

9月18日に湯の里・黒松内で敬老会を行いました。今年は最長寿105歳を筆頭に100歳を超える利用者様が5名、白寿1名、卒寿3名、米寿2名の11名のお祝いを致しました。嶋施設長から記念品が贈られました。みなさん、とても良い笑顔でありこれからも元気でいてください。



余興には岡久美子さんの歌謡ショーで盛り上がり涙を流し喜ばれる方もおりました。



黒松内保育園 「黒松内町敬老会でお遊戯披露」

9月10日、黒松内保育園年長児クラスのぱんだ組が、黒松内町の敬老会に参加させていただきお遊戯を披露しました。ゆずの「イロトリドリ」と、皆さんがよくご存じの「マツケンサンバⅡ」を踊りました。おじいちゃんおばあちゃんから、たくさん注目を浴びて緊張気味でしたが、踊り切った後は、「いつまでも元気でいてね。」のメッセージを大きな声で伝えることができ、子ども達にとっても貴重な経験となりました。皆さんに子ども達のパワーも届いていると嬉しいです。



各施設行事特集②

黒松内保育園「みんなで作ったカレーライス会」

春に植えたたねいもやにんじん、たまねぎがぐんぐん育ち、ついに収穫の日を迎えました。土の中から出てきたじゃがいもやにんじんに「おっきい!」「ちっちゃくてかわいい!」と大喜びの子どもたち。収穫した野菜を使って、みんなでカレーライスやいももち作りにも挑戦しました!

この日はお遊戯室に集まり、みんなで会食をしています。

年少クラスのお友だちは、かわいい手で「フルーチェ」のデザートを作ってくれて、カレーの後にみんなでおいしくいただきました。

自分で作ったカレーライスの野菜の味は格別で、たくさんの「おかわりー!」の声が聞こえてきました。育てる・作る・食べる経験を通して食の喜びを感じることができた笑顔が溢れる「収穫祭」となりました。



緑ヶ丘老人ホーム「味の園遊会」

今年も晴天に恵まれ中庭での開催を致しました。秋の心地よい日差しの中、年に一度の屋外での食事やデザート、また余興など、皆さんと楽しむことができました。

利用者や職員のカラオケ、抽選会と利用者と職員が一緒に楽しむことができ、皆さん大変喜ばれ大盛況のうちに終了いたしました。

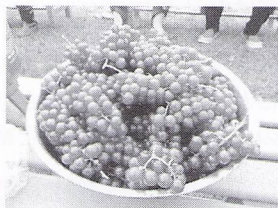
これから利用者とのふれあいを大切に、日々過ごしていきたいと思います。



慶和園「畑クラブ 秋のぶどう狩り」

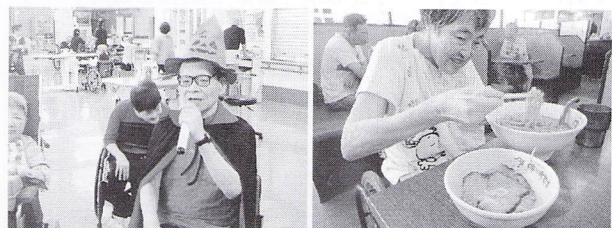
今シーズン、慶和園畑クラブで栽培した「ぶどう」が豊作となり、9月上旬に利用者、町内会長、中学生実習生、職員で『ぶどう狩り』を楽しみました。

今年のぶどうの味は大変甘く、とっても良い香り! 自然と参加メンバーの表情も笑顔で包まれ、大満足の会となりました。



後志リハビリセンター「秋の味覚を満喫」

豊穡の秋、食欲の秋の恒例行事として、鮭やキノコなどの旬の味覚を楽しむ食事会をはじめ、外出レクやハロウィンの衣装に身にまとい、カラオケ大会を実施しました。利用者のみなさん、様々な食材に舌鼓を打ちながら食べたり、自慢の歌を披露され、季節の移り変わりを多に感じられていました。



2025年度 法人

黒松内つくし園

「大鳥神社祭・白井川神社祭に参加」

8月26日(火)、つくし園の小中学生31名と職員6名が、大鳥神社祭本祭の行列に参加しました。つくし園では毎年この伝統行事に参加しており、子どもたちは元気いっぱい町内を練り歩きました。



朝9時、神社を出発。あいにくの

雨模様でしたが、誰一人捨けることなく、夕暮れまで駅前のゴールを目指して力強く歩きぬきました。

治道からの温かい声援や、地域の方々とのふれあいを通じて、子どもたちは地域の伝統やつながりの大切さを肌で感じる貴重な一日となりました。

9月7日(日)、白井川地区にて神社祭が開催されました。つくし園からは、白井川小・中学校に通う子どもたち4名と、白井川中学校OBの高校生1名が参加し、色鮮やかなハッピー姿で神輿を担ぎました。



当日はあいにくの雨模様で、出発が1時間遅れるハプニングもありましたが、次第に雨も上がり、子どもたちは元気いっぱい東川や角十地区を練り歩きました。沿道では地域の皆さんが温かく見守り、笑顔と声援で祭りを盛り上げてくださいました。また、道の駅などの神酒所では、子どもたちが「よっちょれ」踊りを披露。観客からは大きな拍手と歓声が送られ、会場は一体感に包まれました。

「エスコンで野球観戦！」

・大和プレミストドームでサッカー観戦！」

9月15日(月)、子ども3名と職員がエスコンフィールド北海道にて「北海道日本ハムファイターズ vs 西武ライオンズ」の試合を観戦しました。また、9月27日(土)には子ども8名と職員2名が大和プレミストドームで「コンサドーレ札幌 vs ベガルタ仙台」の試合を観戦しま



した。

どちらの試合も、チームにとって重要な一戦。

日ハムは優勝争いの真ただ中、コンサドーレ札幌はJ1昇格プレーオフ圏内を目指す大事な試合でした。

子どもたちは、スタンドから響く大歓声や熱気あふれる応援、選手たちの迫力あるプレーに大興奮！臨場感あふれる球場の雰囲気や全身で感じ、スポーツの魅力を存分に味わいました。

泊村むつみ荘「むつみ祭り開催」

9月27日(土)、むつみ荘まつりが行われました。ドーナツや焼き鳥、おしるこ、炊き込みご飯などたくさんの食べ物が売られ、ご家族と一緒に「あ〜おでんもいいし、いもちも食べたいね。全部食べちゃおうかな。」と楽しそうに話されていました。今年のステージは、ギターの弾き語りをされている坪壺様より素敵な歌を聞かせていただきました。入居者はユニットへ戻り、「ここのお祭りは地域の人たくさん来ていて、なんだかあったかいね」と話されていました。



湯の里・黒松内 ～今年も綺麗です～

湯の里・黒松内は法人内でも山側にある施設で建物の周囲は自然が豊かです。今時期は、何と言ってもリハビリ室は紅葉が綺麗に見える絶景ポイントです。大きな窓ガラスが一枚の写真のように感じられます。一生懸命リハビリをして、温泉で疲れた身体を癒し、景色を見て心を和ませる湯の里は身体も心もリフレッシュできます。もう少しすると紅葉の紅、黄、茶に雪の白が合わさりさらに綺麗な景色になります

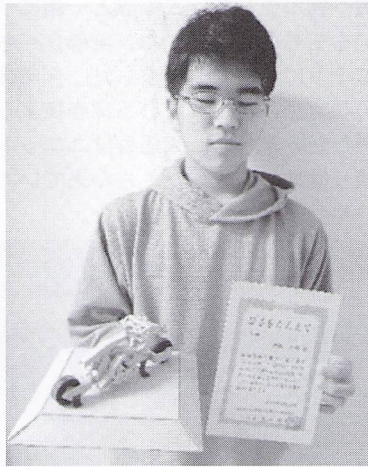


各施設行事特集③

芸術の秋「しりべし学園児童の作品が入賞！」

北海道知的障がい者芸術祭「みんなあーと2025」の展示部門に応募した、しりべし学園の佐藤美雄君のオリジナルのバイク模型【レイラ】が、見事審査を通過し入選しました。

他に入選した作品と比べても見劣りせず、細かい部分まで作り込まれた唯一無二の作品でした。本人がもらった初めての賞状で、自分だけのバイクが評価されとても喜んでいました。



しりべし学園成人寮「秋の交流会」

9月7日「秋の交流会」を開催しました。和太鼓演奏、大道芸パフォーマ「KURO」氏によるマジックショーを行い、利用者も皿回しに挑戦して会場は大いに盛り上がりました。食事はバイキング形式で行い、親睦を深めることができました。



しりべし学園成人寮「あいご会日帰り旅行」

入所利用者の高齢化・重度化に合わせて行事の見直しや新たな企画に取り組んでいます。以前、入所利用者の年齢が若かった頃は宿泊を伴う旅行や果物狩りなど家族も参加する行事が多くあったと伺っております。

昨年のあいご会（家族会）役員会でご家族から家族参加型の行事が少なくなったとご意見が挙がり、現在の利用者・職員状況でどのような企画ができるか職員間で検討を重ねました。

今回は登別マリパークニクスで日帰り旅行を発案し、15名の利用者と12名のご家族が参加されペンギンパレードやイルカショーを観覧したり、買い物を楽しまれました。次年度以降どのような形で開催するか未定ですが、今回のように多くの方が楽しめる企画が出来ればと思います。



緑ヶ丘老人ホーム「道高むつ子歌謡ショー」

せたな町在住で演歌歌手としても活動されている道高むつ子さんが10月30日に来園され、たくさんの歌で盛り上げてくださいました。また、御主人の三味線や民謡、娘様の民謡や踊り等、こちらも楽しく、大変盛り上がりしました。初めて聞く生の三味線の音や、恵比寿さまが鯛を釣り上げる舞。そしてなにより大迫力の道高さんの歌



声に会場の手拍子も大きく、力強く感じました。合間の軽妙なトークに笑いもあり、終始なごやかなムードで時間があっという間に過ぎました。歌手の生歌を聞く機会がなかなかない中、大変貴重な思い出となりました。誠にありがとうございました。

2025年度 法人

湯の里・黒松内 「黒松内駅伝大会出場！」

10月19日に行われた黒松内町市街地一周ミニ駅伝大会に湯の里・黒松内の職員で結成された、チーム「湯の里黒松内25周年」が出場しました。全長22km、5区間で、



普段から走りこんでいる職員もいれば、初参加の職員など様々な組み合わせでの参加でしたが、地域の皆様からの声援を力に最後までタスキをつなぎ、無事にゴールすることができました。地域のイベントに参加することへの意義と職員同士の絆を改めて確認することができた黒松内駅伝となりました。来年も出場しますので応援よろしくお願いします。



湯の里・黒松内

「五位尾商店様よりタオル寄贈」

町内で永く食料品店を営業されていた五位尾商店様より、「湯の里・黒松内で使って欲しい」とタオルの寄贈を受けました。たくさんの枚数であり感謝をしながら使わせていただいております。



他にも有効利用できないか考え、利用者の手縫いで雑巾を作りました。完成した雑巾は黒松内小学校・中学校に寄贈させていただきました。今回の雑巾寄贈を通して利用者也学生時代を振り返る良い機会となり、想い出話に花が咲きました。今後も利用者の活動で何か皆様のお役に立てたら良いと考えております。そして、地域の皆様とのつながりを大切に、様々な活動が世代間交流や親睦を深めれるようにしていきたいと思っております。



えぞふじ納豆

蝦夷富士（羊蹄山）の湧水を使用した
手作り納豆をご賞味ください。



しょうがいしゃの就労と生活を支える

羊蹄セルプ

TEL (0136) 23-0425 FAX (0136) 22-1985

URL <http://www.selp.jp/>

ディサービスで黒松内中学校2年生との交流会開催

10月31日に黒松内町ディサービスセンターで、黒松内中学校2年生の皆さんと交流会を行いました。



利用者の皆さんは、短い時間の中で少しでも楽しんで学んで帰っていただきたいという気持ちから、生徒さん達に積極的に話しかけられていました。

生徒さんは、利用者の皆さんと一緒に楽しく体操やゲームを行いました。

交流会を終えた後の利用者は、いつもより笑顔が増え、会話も多く声が力強く感じられました。また何度も「楽しかったね」と話されていました。

ちびっこ保育士体験 黒松内保育園

夏休みを利用して、小学生・中学生のお兄さん、お姉さんたちが、園児たちと半日を過ごす「保育士体験」に来てくれました。



一緒に遊んだり、給食やお昼寝の準備を手伝ったりしながら、子どもたちの笑顔に囲まれて楽しい時間を過ごしました。園児たちも「また来てほしい!」と大喜び。あたたかい交流の中で、思いやりの心や憧れの気持ちが育まれています。



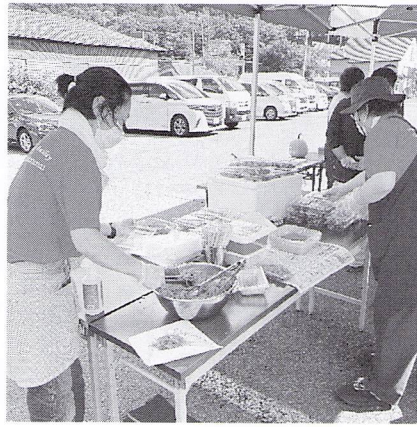
ブナの森診療所の健康祭りに出店しました

9月27日にブナの森診療所主催の「第7回ブナ診療健康まつり」が開催され、湯の里・黒松内で露店を出店しました。焼きそばと綿飴を作り子供から大人まで来場者全員に好評でした。焼きそばは約400食を準備し全て

完売しました。法人本部では「おやき」を販売し好評でした。日頃よりお世話になっているブナの森診療所の行事に少しでも貢献しようと出店しました。



主催のブナの森診療所様と協賛の黒松内町、そして当法人が黒松内町の医療・福祉の充実に向けて、さらに協力して取り組んでいきたいと思っております。



法人会務の運営状況 (2025年7～10月開催分)

- ◆ 7月18日 施設長・副施設長会議
- ◆ 7月31日 法人労務管理研修・ハラスメント研修
- ◆ 8月7日 黒松内町との意見交換会
- ◆ 8月12～22日 第1四半期内部監査
- ◆ 8月19日 施設長・副施設長会議
- ◆ 8月19日 苦情解決委員会
- ◆ 8月20～21日 監査法人期中往査
- ◆ 8月28日 監事監査
- ◆ 8月29日 第447回理事会
- ◆ 9月11日 施設長・副施設長会議
- ◆ 10月7日 法人アンガーマネジメント研修
- ◆ 10月14日 施設長・副施設長会議
- ◆ 10月14日 苦情解決委員会
- ◆ 10月21日 相談員会議

「厚志に心から

感謝申し上げます

(令和7年7月1日から令和7年9月30日まで)

敬称は略させていただきます

お詫びとご案内

社会福祉法人黒松内つくし園会報「ブナの里」では、これまで法人へのご厚志をいただきました皆様のご芳名を掲載してきましたが、個人情報保護の観点から、個人の方からのご厚志の紙面掲載を控えさせていただきます。

当法人へのご厚志に感謝申し上げますとともに、個人情報流出防止等への対応となりますので、どうぞご理解のほどよろしくお願い致します。

黒松内つくし園後援会（黒松内町）、青木ホーム営繕（倶知安町）、紅寿司、(有)山中板金工業所、(株)羊蹄清掃社、京極調剤薬局、菊池建設鋳業(株)、樋口電気工業(株)、グリーンバード、たこ八、南京極町内会、(株)中村組、ひまわりクリニクきょうごく、菊地歯科医院、南京極郵便局、(有)古谷建設（以上京極町）、(福)北海道宏栄社（小樽市）、(株)新栄産業（室蘭市）、日本ガード(株)、北海道新聞社会福祉基金、北海道建築設計監理(株)、あいおいニッセイ同和インシュアランスサービス（以上札幌市）

編集後記

2025年度もあつという間に上半期が終わりました。記録的な猛暑だった北海道の夏が過ぎ、9月でも厳しい残暑が続きました。そうかと思えば10月には一気に冷え込み、あまり記憶にないですが10月に雪まで降りました。この冬の気温と積雪はどうなることでしょう。

政界では、半世紀にわたる連立政権の枠組みが変わり、新たに女性初の総理大臣が誕生しました。昨年の衆議院選挙と今年の参議院選挙での公約や政策をしっかりと守っていたかながら、「働いて働いて働いて」ほしいと思います。物価高騰は留まることを知らず、私を含めて先行き不安を感じる人は少なくありません。冬を目前にして、ガソリン価格が下がるのは大変うれしいですが、そのしわ寄せがどうなるのか心配です。

法人会報「ブナの里」は、1998年（平成10年）に創刊第1号が発行されました。その後2012年に私が編集長を拝命し87号から携わっています。2014年の100号発刊から9年、本号が150号を迎えることとなりました。これからも法人広報委員会を中心に黒松内つくし園の取り組みや施設の様子を伝え続け、200号発行を目指してまいります。

岡田

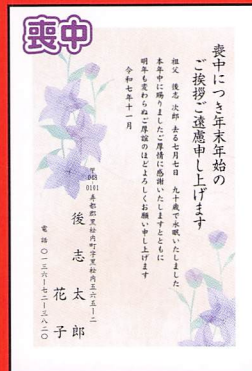
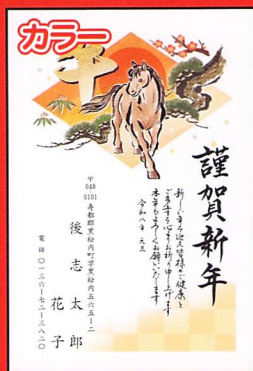
2026年 年賀状印刷

年賀状サイト



セオス印刷課より年賀状販売のお知らせです。注文方法ですが下記の連絡先までご連絡ください。商品の納品については、黒松内町内の方は配達、黒松内町外の方は郵送(無料)致します。お求めやすい価格での販売となっておりますので、ご利用お待ちしております。

印刷料金(税込)	カラー印刷	白黒印刷
1~50枚まで	2,300円	1,800円
51~100枚まで	2,600円	2,000円
101枚以上につき	25円(1枚)	18円(1枚)
年賀・喪中用はがき	85円	私製はがき 12円



しめかざり販売

セオス園芸課より、しめ飾りの販売のお知らせです。しりべし学園成人寮にて受付けている他に、お電話での注文やチラシにて注文も可能となっております。ご注文頂いた商品に関しては、12月22日以降にお届けさせていただきます。1点ずつ心を込めて、利用者、職員が作製してまいりました。ぜひご利用ください。



ごぼう締め



玄関用

品名	単価
自動車用ミニ	600円
玄関用ミニ	1,400円
玄関用 小	1,600円
玄関用 中	2,000円
玄関用 大	2,400円
神棚用 5俵	2,100円
神棚用 7俵	2,400円
ゴボー小飾有	1,300円
ゴボー小飾無	1,000円
ゴボー中飾有	1,700円
ゴボー中飾無	1,200円
ゴボー大飾有	2,400円
ゴボー大飾無	1,400円
輪 締	150円
間縄 (1間)	450円
特 注	7,500円

社会福祉法人 黒松内つくし園 (就労継続支援B型事業)

しりべしワークセンターセオス

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内565番地2

TEL 0136-72-3820(印刷課)/0136-77-2950(事務所・園芸課)/0136-72-3914(クリーニング課)

FAX 0136-72-3952 E-mail s.gakuenseiseos@tsukushien.or.jp

営業種目 印刷課: 名刺・封筒・用紙類・製本・伝票・挨拶状・大判・パンフレット・カラーコピー・クリアファイル等
園芸課: 花苗・野菜苗・しめ縄・和紙・椎茸・切り絵・ポストカード等 クリーニング課: クリーニング全般



名刺見本帳
総合パンフレット
無料配布中です



法人会報「ブナの里」第150号

発行年月日 令和7(2025)年11月10日発行
発行 者 社会福祉法人 黒松内つくし園
発行責任者 法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人 黒松内つくし園

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1

電話: 0136(77) 2833 FAX: 0136(75) 7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp URL: https://tsukushien.or.jp